



平成 21 年 5 月 20 日

各 位

会 社 名 スパークス・グループ株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 阿 部 修 平
(JASDAQ コード番号：8739)
問い合わせ先 取締役 藤 井 幹 雄
電 話 番 号 0 3 - 5 4 3 7 - 9 7 0 0

平成 21 年 3 月期業績の前年実績値との差異 および特別損失等の発生に関するお知らせ

下記のとおり、平成 21 年 3 月期 連結・個別の業績と前年実績との差異および特別損失等の発生をお知らせ致します。

記

1. 平成 21 年 3 月期の連結業績（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

（1）連結業績と前年実績との差異

（百万円未満切捨て）

連結経営成績

（%表示は対前年増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21 年 3 月期	7,335	△76.0	△8,045	-	△8,259	-	△23,317	-
20 年 3 月期	30,552		7,619		8,157		3,213	

営業収益に関しましては、残高報酬が前期比 38.1%減の 97 億 45 百万円、成功報酬が同 82.0%減の 23 億 22 百万円、その他収益が同 91.3%減の 1 億 66 百万円となりました。また、営業投資有価証券評価損益として 48 億 98 百万円の損失を計上することとなり、全体では同 76.0%減の 73 億 35 百万円となりました。

営業費用及び一般管理費に関しましては、支払手数料や成功報酬に連動した賞与支払額など変動的経費が大きく減少したことにより、同 32.9%減の 153 億 80 百万円となりました。なお経営環境の急激な変化に対応し、コスト構造の抜本的な見直しを図る目的から二度にわたる構造改革を実行致しておりますが、その成果が固定的経費の削減として明確に現れてくるのは、翌連結会計年度以降となります。

これらの結果、営業損失は 80 億 45 百万円（前期は 76 億 19 百万円の営業利益）、経常損失は 82 億 59 百万円（前期は 81 億 57 百万円の経常利益）となりました。

平成 20 年 12 月 19 日付けで発表しました「子会社の株式譲渡契約の締結および特別利益の発生に関するお知らせ」にあるとおり、子会社として保有している Cosmo Investment Management Co., Ltd. の株式の一部を、平成 21 年 2 月、韓国ロッテグループに譲渡したことにより、39 億 83 百万円を特別利益として計上し、また、以下に記載する理由により、当期純損失については、233 億 17 百万円となりました。

（2）特別損失等の発生について

営業収益については、自己資金による投資育成業務における投資先企業の価値が著しく毀損したことから営業投資有価証券評価損益で 48 億 98 百万円の損失を計上いたしました。

特別損失については、子会社であるPMA Capital Management Limitedの株式に係るのれんの減損処理として135億15百万円、海外子会社役員税務関連損失引当金繰入額として16億11百万円を、それぞれ計上いたしました。

2. 平成21年3月期の個別業績（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（1）個別業績と前年実績との差異

（百万円未満切捨て）

個別経営成績

（％表示は対前年増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
21年3月期	1,483	△26.5	△293	-	885	102.4	△7,662	-
20年3月期	2,018		△295		437		549	

受取配当金の増加等により、経常利益は8億85百万円（前期比102.4％の増加）となり、以下に記載する理由により、当期純損失については、76億62百万円となりました。

（2）特別損失等の発生について

当社子会社スパークス・キャピタル・パートナーズ株式会社への破産更正債権に対する貸倒引当金繰入額として35億22百万円、海外子会社支援損失引当金繰入額15億90百万円を、特別損失としてそれぞれ計上いたしました。

以 上